



ダムニュース

[法人名] 一般財団法人ダム技術センター
[郵便番号] 〒110-0008
[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F
[電話] 03-5815-4161
[FAX] 03-5815-4162
[ウェブサイト] <https://www.jdec.or.jp/>
[電子メール] damnews@jdec.or.jp

この号の内容

- 1 Dam news 投稿記事募集
- 2 ダム工学会からのお知らせ
- 3 「ダム技術 4月」の目次
- 4 図書販売



鳴子ダム(藤島 純七氏撮影)
【第37回ダムフォトコンテスト5月入選作品】

Dam news 投稿記事募集

『ダムニュース』編集事務局では、下記のようなあらゆる情報・話題を広く募集しております。

内容等につきましては特に問いませんので、下記を参照の上、**積極的にご投稿くださいますようお願い申し上げます。**

1. イベントの開催通知・報告（水の週間、サマーカーニバル、花火大会、コンサート等）
2. 小学生等によるダム見学会についての報告（絵・感想文等）
3. ダム所在地等における伝統的な行事の紹介（祭り等）
4. ダム事業に関するPR 活動の紹介（パンフレット、ポスター等）
5. ダム周辺の自然紹介
6. ダム周辺の観光レクリエーション活動の紹介（スポーツ大会等）
7. 研究会・講演会・シンポジウムの開催（通知・報告）
8. 水害・地震等報告
9. ダム資料館・交流館等の紹介

なお、ご不明な点及び執筆にあたっての要領等につきましては、下記担当までご連絡ください。

※ダムニュースの配信先変更や配信停止などのご希望がありましたら、ダムニュース編集事務局までご連絡をお願い致します。

[法人名] 一般財団法人ダム技術センター 『ダムニュース』 編集事務局
[郵便番号] 〒110-0008
[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F
[担当者] 企画部 ダムニュース担当
[電話] 03-5815-4161
[FAX] 03-5815-4162
[電子メール] damnews@jdec.or.jp



「大規模洪水時におけるダム効果の情報発信に関する提言」 についてのお知らせ

ダム工学会の調査研究委員会は、「大規模洪水時におけるダム効果の情報発信に関する提言」をとりまとめ、ダム工学会のウェブサイトに掲載しました。

是非、ご一読いただき、洪水時のダムの洪水調節効果を、①迅速に（できれば3日～7日間以内）、②簡潔に（速報値として、精査により数値は後で更新の可能性があるとの記述でOK）、③できればビジュアルに（ダム地点の流量低減量、下流水位低下量に加えて、氾濫被害の軽減効果（氾濫域面積、湛水深、経済被害額の減少など）まで）、③社会に届く形で（できるだけ平易に、専門家でなくてもわかる形で記述）、発信してマスコミを通じて「社会に届く」ことを目指していただきたいと思います。

<http://www.jsde.jp/>（ダム工学会 HP）

近年、大規模洪水が頻発する中、治水施設としてのダムに関する社会の関心が非常に高くなってきています。土木学会などの各学会では、大規模洪水発生時に災害調査団の派遣や調査報告などの活動を実施しており、当学会においても、様々な場で積極的な情報発信等の活動を行っていくことが求められています。

ダム工学会の調査研究委員会では、ダム再生を主題としているダム貯水池課題研究部会でダム大規模洪水対応ワーキンググループを組織し、大規模洪水の発生後にダム効果を即時的かつ効果的に情報発信する方策、事前放流の効果をさらに高めるための方策に関する研究を実施しました。

「大規模洪水時におけるダム効果の情報発信に関する提言」は同ワーキンググループにおいて検討されたダム効果を即時的に情報発信するための課題と対応方策についてとりまとめたものです。

なお、提言の骨子がダム工学 Vol. 32 No. 2 2022 に掲載され、提言の概要が令和4年度ダム工学会特別講演会において京都大学防災研究所角哲也教授より発表されています。是非、ご参照ください。

「大規模洪水時におけるダム効果の情報発信に関する提言」

1. はじめに

2. 課題認識と今後の方策についての提言

2-1. ダム効果の的確な情報発信

- (1) 洪水時のリアルタイムな情報発信
- (2) 洪水直後の即時的な情報発信
- (3) 定量的な情報発信
- (4) 情報発信における関係機関との調整
- (5) 被災河川の氾濫特徴について地域住民への周知
- (6) マスコミへの情報発信の工夫

2-2. ダムの効果を定量的に提示するための方策

- (1) 降雨量の空間分布の可視化
- (2) ダムの効果の定量化

3. おわりに

ダム技術

APRIL
2023

No. 439

目次

巻頭言 令和5年度のダム建設・再生事業について

国土交通省九州地方整備局企画部長 笠井雅広
(前)国土交通省水管理・国土保全局 事業監理室長

講座 CSGノート その16
—台形CSGダムの基礎岩盤に発生する引張応力とその影響—

(元)一般財団法人ダム技術センター顧問 藤澤侃彦

現場報告 長安口ダム本体改造における貴重植物キンランの環境保全措置について

国土交通省四国地方整備局那賀川河川事務所開発工務課 武田侑大
課長 三野和志
係長 三好正晃

川上ダムの「夢ダム」プロジェクト ～交流人口の増加による地域活性化～

独立行政法人水資源機構川上ダム建設所経理課 脇本 瞳
総務課 奥野紗江

2年連続となる一庫ダム冬季渇水への対応

独立行政法人水資源機構ダム事業部ダム管理課長補佐 内藤信二
(前)独立行政法人水資源機構一庫ダム管理所長代理
独立行政法人水資源機構関西・吉野川支社 淀川本部 施設管理課主査 川上貴宏
(前)独立行政法人水資源機構一庫ダム管理所

Q & A 重力式コンクリートダムの同軸かさ上げを行う際の設計・施工上の留意点

文献紹介

編集事務局から

第38回「ダムフォトコンテスト」応募要領

図 書 販 売

1. ダム技術
 - ・月刊誌 A4 判 12 部/年 年度契約（定期購読申込）
令和5年4月号（No. 439）～令和6年3月号（No. 450） 1,400円（税込・送料込）
2. 多目的ダムの建設 平成17年版（全7巻）
 - ・平成17年6月発行 A4 判 88,200 円（税込・送料別）
3. RCD工法技術の進歩
 - ・平成17年12月発行 A4 判 4,500 円（税込・送料別）
4. ダムの安全管理
 - ・平成18年5月発行 B5 判 2,000 円（税込・送料別）
5. 地質現象とダム
 - ・平成20年6月発行 A4 判 7,000 円（税込・送料別）
6. 改訂3版 コンクリートダムの細部技術
 - ・平成22年8月発行 A5 判 6,000 円（税込・送料別）
7. 改訂版 巡航RCD工法施工技術資料
 - ・平成24年2月発行 A4 判 2,000 円（税込・送料別）
8. 台形CSG ダム設計・施工・品質管理技術資料
 - ・平成24年6月発行 A4 判 3,000 円（税込・送料別）
9. ダム技術Q&Aー総集編ー改訂版 I
 - ・平成27年3月発行 A4判 3,240円（税込・送料別）
10. ダムの地質調査ーボーリング・調査坑・トレンチー
 - ・平成27年3月発行 A4判 6,000円（税込・送料別）
11. RCD工法施工技術資料
 - ・平成31年3月発行 A4判 5,000円（税込・送料別）
12. 岩盤画像の取得と活用
 - ・令和3年3月発行 A4判 7,000円（税込・送料別）
13. ダム工事積算の解説（令和3年度版）
 - ・令和3年8月発行 A4判 2,900円（税込・送料別）
14. ダム用PSアンカー設計施工マニュアル
 - ・令和3年9月発行 A4判 3,300円（税込・送料別）
15. 地質現象とダム 第二版
 - ・令和5年3月発行 A4判 15,000円（税込・送料別）

書店では販売をしておりません。

お申込みは、ダム技術センターへ、FAXまたはE-mailをご利用下さい。

申込用紙の形式は定めておりませんが、参考形式が必要な方は、当センターホームページにて、出版物の項目よりword及びPDF形式でダウンロードする事が可能となっております。

【法人名】 一般財団法人ダム技術センター 図書販売

【郵便番号】 〒110-0008

【住所】 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

【担当者】 図書販売担当

【電話】 03-5815-4161

【FAX】 03-5815-4162

【電子メール】 books@jdec.or.jp

圖書注文書

E-mail : books@jdec.or.jp, FAX : 03-5815-4162

ダム技術センター 図書購入注文書

申込者	ふりがな	* 公／私	* 公／私どちらかに○をお付け下さい。	
	氏名		公→宛名(会社名)	私→宛名(申込者名)となります。
会社名		事務所名・ 部署名等		
所在地	(〒 ー)			
ビル名				
TEL		FAX		
E-mail				

書 籍 名		部数
1		
2		
3		
4		
5		

- ・ご注文書到着後（E-mail か FAX）、請求書、納品書、見積書、郵便振替用紙を送付致します。
- ・入金確認後、商品を発送致します。（月刊誌を除く）

■代金お支払いについて

- ・郵便振替時の手数料は当センターが負担いたします。
 - ・郵便払込用紙をご利用なさらない場合の手料は、お客様のご負担となります。
 - ・郵便払込用紙を使用しないでお支払いされる場合には、お手数ですが、お振込日・お取扱銀行・請求書番号(請求書右上)・金額を必ず書面(FAX もしくは通知状)にてご通知下さい。
- ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

通信欄

お問合せ先：〒110-0008 東京都台東区池之端 2-9-7 池之端日殖ビル 2F

TEL : 03-5815-4161

一般財団法人ダム技術センター 企画部 図書販売係

- ◆ 請求書・見積書・納品書に指定の宛名、日付等がある場合は通信欄にご記入下さい。
- ◆ 当センターで販売しております図書は HP に表示されている商品のみでございます。ご確認ください。

今回お申し込み図書は、何を見てお知りになりましたか？

①ダム技術	②ダム技術センターホームページ	③知人からの紹介
④その他（		）

管理用記入欄 ()